

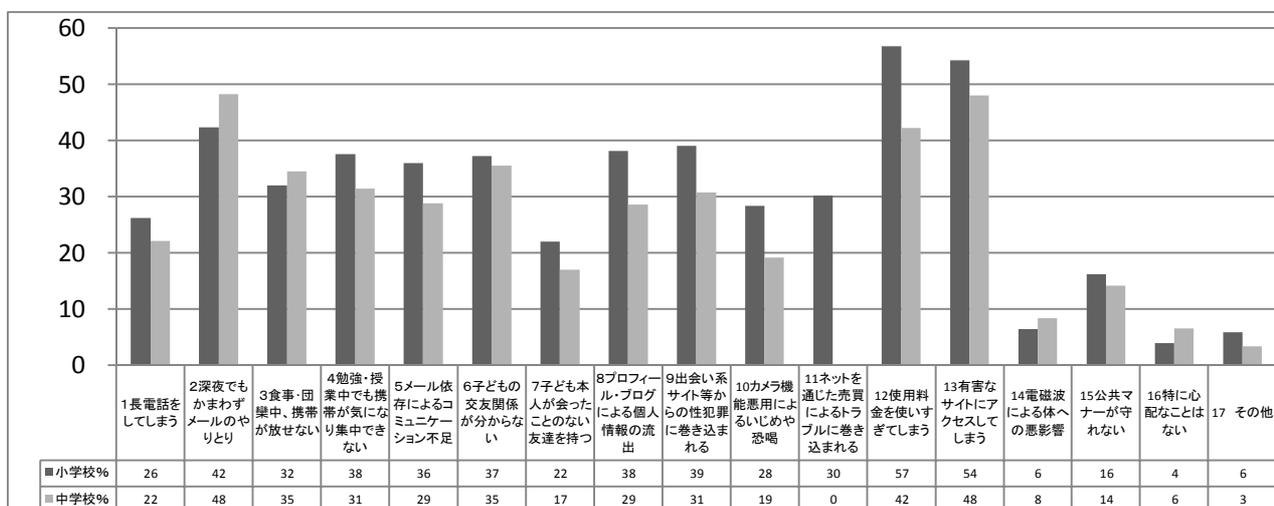
子どもの携帯電話の使いかたに関する意識調査

平成24年度山梨県PTA協議会 企画委員会

携帯電話が急速に普及し始めたのは1992年頃です。歴史は浅いのですが、その存在感と市場規模は群を抜いています。さらにiモードをはじめ、携帯電話を通じたウェブサービスが可能になった99年度を境に飛躍的な進化を遂げ、さらにスマートフォンの出現で今なお進化し続けています。このモバイル時代、便利になったと同時にトラブルも後を絶ちません。子どもにどう使わせたらいいか？。そこから、5年前の携帯電話に関するアンケートと現在の携帯電話の使いかたの比較考察をしました。

- ・テーマは「子どもの携帯電話の使いかたに関する意識調査」
- ・アンケート調査対象者は、企画委員の所属している山梨県下14校（小学校8校、中学校6校）の小学5年生と中学2年生の保護者、合計833名の皆様に協力を頂きました。
- ・アンケート回収率は89.4%、合計745名の貴重な回答を頂きました。

【問1】あなたは、子どもの携帯電話の使用について、心配（問題）は何だと感じていますか。



- 子どもが持つ携帯電話について、多くの親が様々な心配や不安を感じている。
- 料金の使い過ぎ、食事や勉強中の使用等親に見えやすい問題。有害サイト、個人情報流失、子どもの交友関係不明等見えにくい問題と両面で心配・不安を持っている。
- 小学生では、「料金の使い過ぎ」が1番で57（50）%、次いで「有害サイト」が54（46）%
- 中学生の親は、「深夜でもかまわずメール・・・」が48（49）%、「有害サイト」が48（41）%、「料金の使いすぎ」42（42）%となっている。
- ◎ 5年前の結果と比較すると、多少の数字変化と順番の入れ替えはあったがほぼ同じ結果であった。

（○は24年度調査の特徴 ◎は19年度との比較 （ ）内は19年度の%数値）

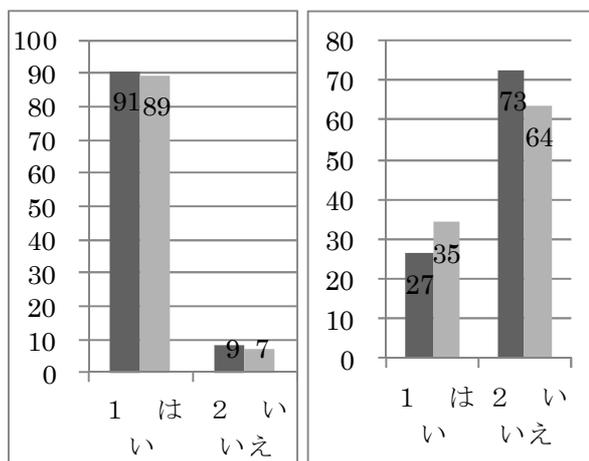
問 2 問 3

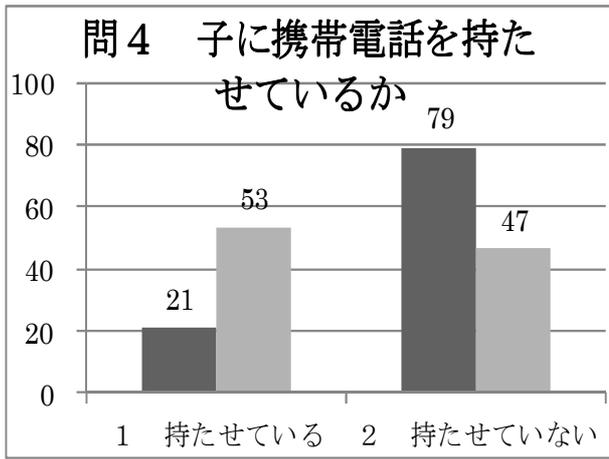
【問2】問1の問題について、もっと親が知識を得なければいけないと思っていますか。

- 親も問題の中身について、関心や知識を持つことが必要は小中共90（同）%くらい。

【問3】子どもが携帯電話の犯罪やトラブルに巻き込まれた時、どのように対処すればよいか知っていますか。

- 子どもに持たせているのに、60～70（60）%以上が知らないと答えている。
- ◎ 対処法を知らない保護者が前回より増えている。知識や関心を高めることが求められる。





【問4】あなたは子どもに、携帯電話を持たせていますか。

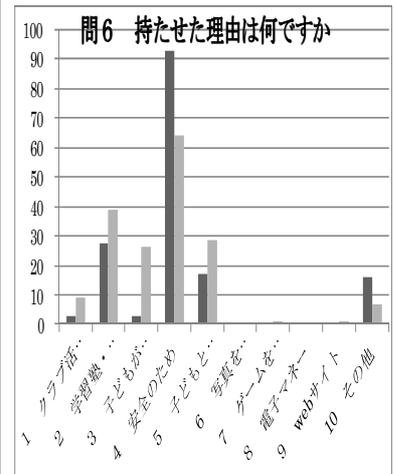
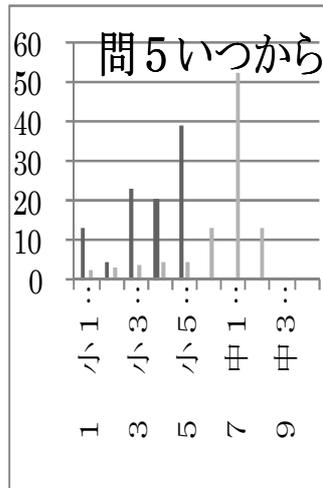
- 調査では、小学生は21（24）%、中学生53（58）%である。全国では小学生23%、中学生45%（H23年度、日P調査）で、本県は小学生が全国平均程度で、中学生は持たせている家庭が多い。
- 全国調査では、中学生は平成15年度で30%が所持し、18年度では40%強である。
- ◎ 本県でも15年度調査（小5年18%・中2年38%）より持たせている割合が増加している。19年度調査との比較では、小5年（24%）・中2年（58%）とも、所持率は低下している。

【問5】いつから持たせていますか。

- 小学生は5年生（4年生）、中学生は1年生（同）からの所持が多い。
- ◎ 中学生は変わらないが、小学生の持たせ始めは、遅くなっている。

【問6】持たせた理由はなんですか。

- 小中とも安全のために（塾等で夜間の連絡を含む）圧倒的多数の理由である。子どもといつでも連絡やコミュニケーションをとるために次に続く。
- ◎ 5年前中学生の理由トップであった「携帯電話をほしがった」の項目に近い「友達と連絡を取り合うため」は、低くなっている。小学生は「親から与えた」ことが読み取れる。

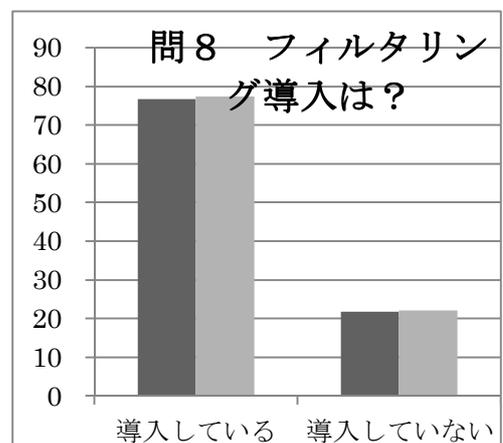
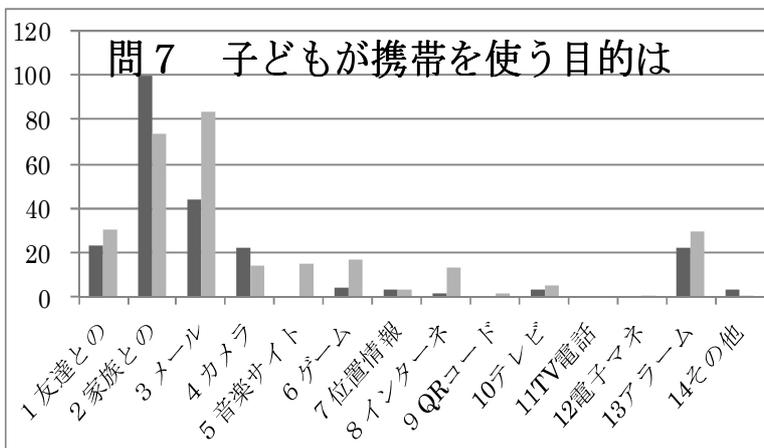


【問7】子どもが主に携帯電話を利用していると思われる目的を教えてください。

- 小・中学生とも家族との電話連絡が多い。次にメールの使用で、中学生は多い。
- ◎ 5年前と比べると、音楽サイト・友達との電話・ゲームでの使用が減っている。

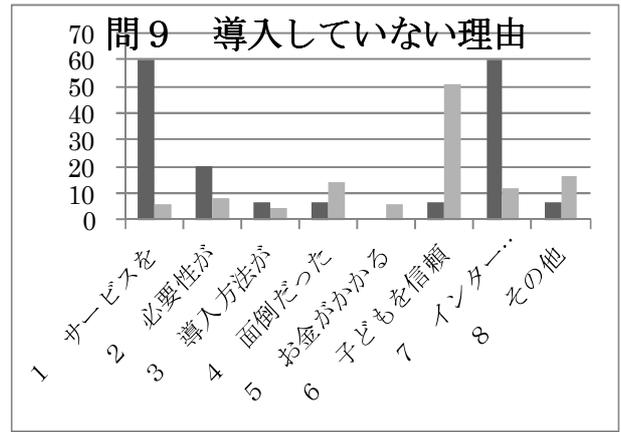
【問8】あなたは、子どもの携帯電話に有害サイトへのアクセスを制限するサービス（フィルタリングサービス）を導入していますか。

- 小中生とも77%が導入している。
- ◎ 前回と比べると、小学生は20%弱増えている。中学生は30%弱から倍以上に増えていて、導入の有効性が理解され定着してきている。



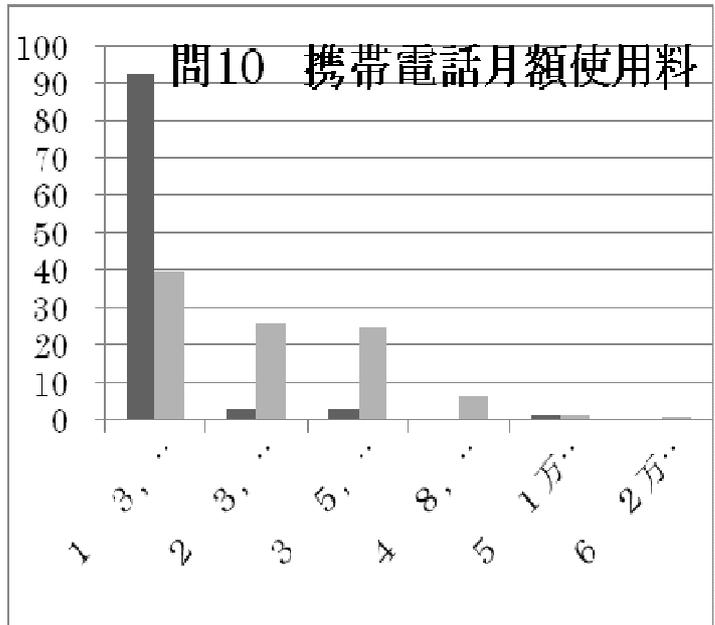
【問9】 導入していない理由はどのようなことですか

- 小学生の保護者は、「サービスを知らなかった」と「インターネット機能を付けていない」のほぼ2つだけであった。中学生の保護者は、子どもを信頼しているが圧倒的多数であった。
- 普及が進み報道等で注意喚起されているが、サービスを知らない親がかなりいる。
- 前回、中学生の親は「サービスを知らなかった」と「子どもを信頼している」が多かったが、今回は、「子どもを信頼している」は中学生の親で変わらないが、「サービスを知らなかった」は小学生の親に移った。



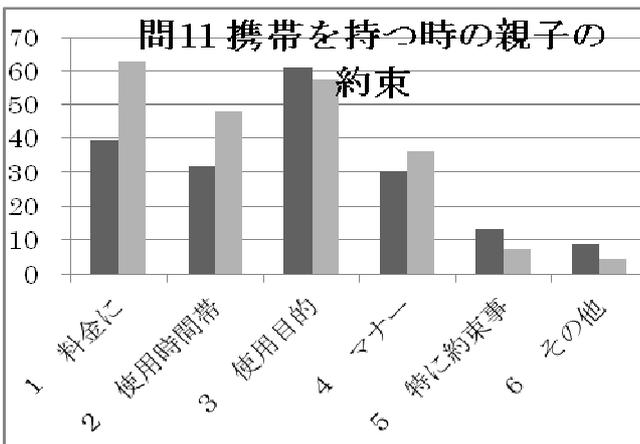
【問10】 子どもが使う携帯電話の使用料は毎月およそどのくらいですか。

- 小学生では3000円未満が93（68）%と大部分である。中学生も3000円未満が1番多く、3千と5千はどちらも25%くらいで、この3つを合わせると91%になる。
- 全国調査では、3000円未満の小学生は、53.6%、5000円未満の中学生は、48.2%で、本県小中学生の使用料はかなり少ないと言える。
- 前回中学生調査では、5～8千円台が一番多く、3～5千円台、3千円未満と少なくなったが、今回は3千円未満が一番多く逆傾斜になっている。
- 小学生は、前回と順序は変わらないが、3千円未満の比率が大幅に増えた。



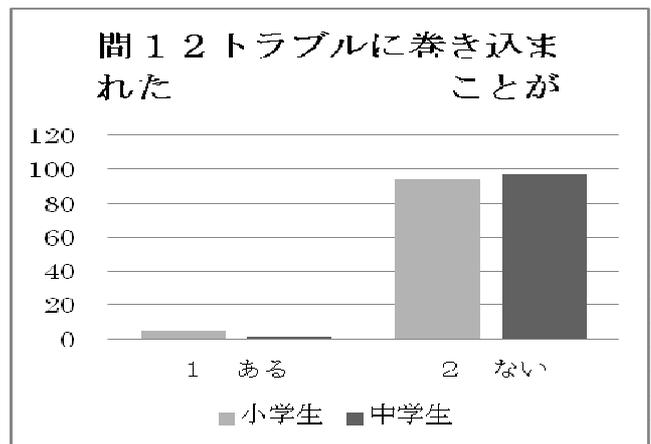
【問11】 携帯電話を持つにあたり、親子の約束事がありますか。

- 料金、目的、使用時間帯、マナーの順に多い。
- 料金、使い方、マナーについて多井結果で、前回と変わらない。

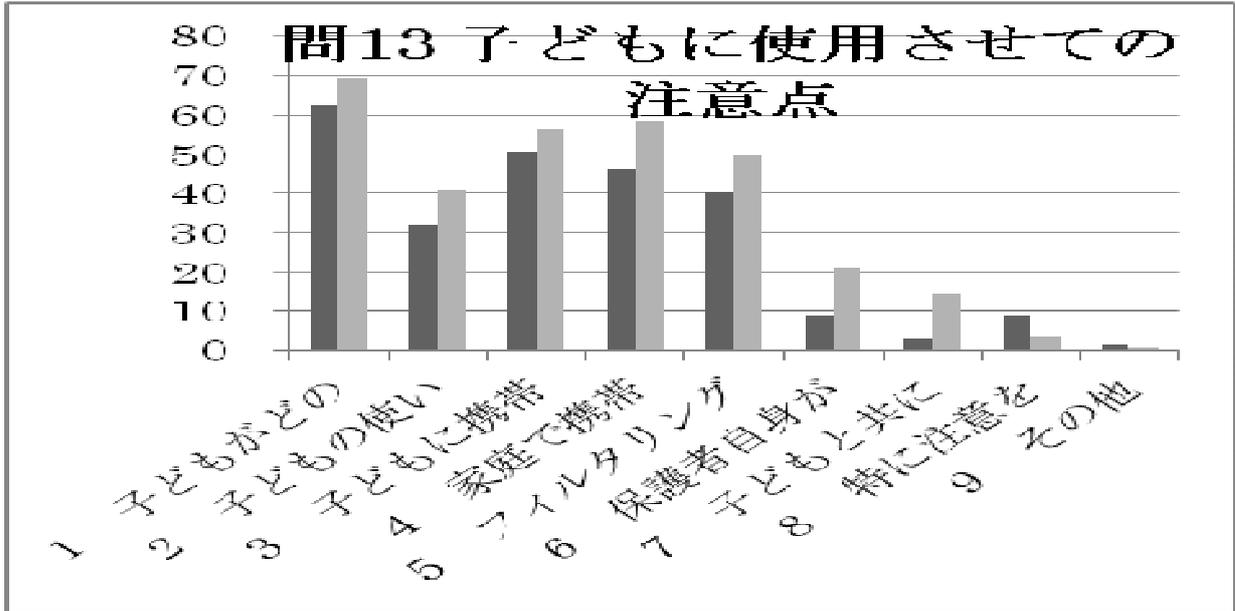


【問12】 子どもが携帯電話でのトラブルに巻き込まれたことはありますか。

- グラフは親が認識できたトラブルで、親の見えない部分がグラフに出ていないのではないかと推察される。
- トラブル体験比率は、前回19年度調査と変わらない。



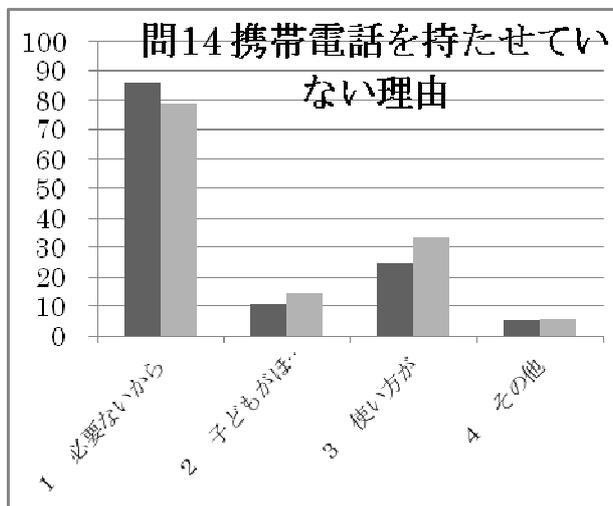
【問13】あなたは、子どもの携帯電話の使用について注意していることは何ですか。（複数回答）



- 小中学生とも「子どもがどのような使い方をしているか関心を持つこと」が最も多い。次いで「家庭で使用するルールをつくること」「子どもにマナーや危険性を説明すること」「フィルタリング導入によりアクセス制限をする」「使用方法を通話明細等で把握すること」の順になっている。
- フィルタリング導入率は、全国調査と比べると77（全国74）%で3ポイント上回っているが、導入していない率も22（全国18）%と上回っている。
- ◎ 前回調査と比べると、順番は変わっているが重視する注意点は同じである。しかし前回、ほぼすべての項目で小学生の保護者意識が中学生を上回っていたが、今回はほぼすべてで逆転し中学生の比率が上回っていた。

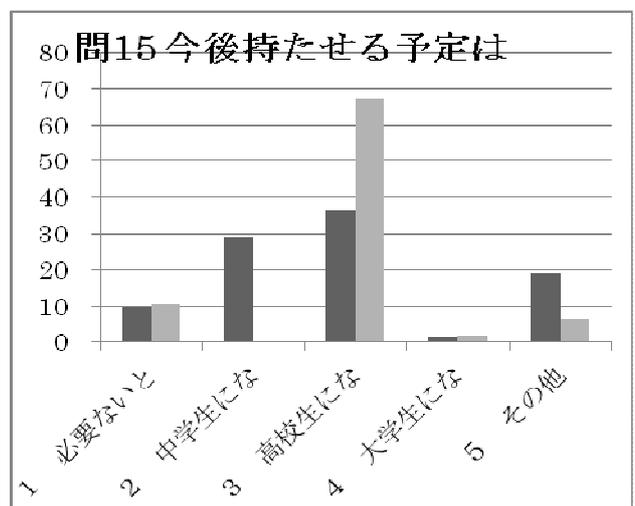
【問14】子どもに携帯電話を持たせていない理由は何ですか。

- 携帯電話を持たせていない親の80%くらいが必要ないと答えている。



【問15】今後持たせる予定はありますか。

- 小中保護者とも、高校生になったら考える人が多い。
- 小学生の保護者の1/3は、中学生になったら考えている。
- ◎ 与える時期は比率を含め、前回と同じであった。



【問16】子どもが持つ携帯電話の普及について、あなたのお考えをお聞かせ下さい。

小学校（○は主な意見、・は同様の意見）

- ルールを決めて使用すれば便利でよいものだと思う。子どもの安全のためにもあっても良い。
 - ・使い方さえ間違わなければ、必要に応じて持たせて良い。親の管理は当然しっかりと。
 - ・携帯がないと連絡手段が難しい。現状では携帯を持たせるのは仕方がないと思う。
- 自分でしっかり管理できる年齢になれば持たせる。
 - ・自分で律せるようになってから。子供だけでは管理は無理。
- 周りに携帯を持つ子が増えたら自分の子にも持たせようかなと思う。
 - ・ゲーム機などと同じように、“友達が持っているから”と周りに流されてしまうそう。
 - ・持っていないと仲間はずれになってしまうと中学生のお母さんから聞いた。本当に必用な時に。
- コミュニケーションツールとするのはまだ早い。
 - ・子どもに携帯は必要ありません。
 - ・子どもに悪影響の方が多し携帯は、不必要だと思います。
- 便利さと危険性などいろいろ考えると、一概に言えない。
 - ・「相談がある、お願いだから来て」と呼び出され、行ったら集団で暴行された子を知っているから。
 - ・電話するだけならいいけど、機能がつきすぎていて恐ろしい。
- 犯罪やトラブルの実態・対処法など知識不足を認識しました。

中学校（○は主な意見、・は同様の意見）

- 使い方を間違えなければ便利な物だし、時代なので上手に使えば構わないと思う。
 - ・必用なら、子どもに持たせることに問題はない。
 - ・使用目的をはっきりさせ、機種を選んで持たせ便利に使わせたい。
 - ・遅い時間の登下校、友達との休みの時の外出の位置情報など、必要不可欠です。
 - ・親子でしっかり話し合っていれば特に問題はない。ただ買い与えるのは良くない。
 - ・モラルやマナーをしっかり理解しているか、親がきちんと把握してから持たせるべき。
 - ・買った後が大事、使用目的をはっきりして親が注意してみていると問題はないと思う。
 - ・公衆電話がないので、何かあったときには必用だと思う。
 - ・我が家では現在、週に何回かは使用状況の話し合いの時間を作っている。
- 周りに携帯を持つ子が増えたら自分の子にも持たせようかなと思う。
 - ・子どもがほしいと言うだけで、持たせることには疑問を感じる。
- 持たせるべきではない。中学時代までは不要。
 - ・未成年が携帯を持つ必用はないと思う。
 - ・便利で簡単に持たせているけど、中学生には本来必要ないものだと思う。
 - ・自分はない時代に育った（ないなりに生活できた）ので、なくても良いと思っている。
- 便利さと危険性などいろいろ考えると、一概に言えない。
 - ・持たせないようにしたいが、仲間外れになった気がする子どもが思うようで難しい。

＊＊ まとめ ＊＊

冒頭にも述べましたが、スマートフォン等の出現で情報通信における発展と変貌は今なお続いています。子どもに持たせる携帯電話の所持率は僅かながら減少しているものの、ほぼ変わっていません。親もいろいろなトラブルを見聞きし、情報交換をして知識を深めようと努力しているものと思います。安易な買い与えが、良くないことが認識できているのだと思います。

又、塾や習い事などで遅い時間に行動せざるを得ない昨今、防犯の意味で持たせていることも事実です。

携帯のトラブルと隣り合わせですが、保護者同士の情報交換、又、親子の情報交換を密にして安全・安心なツールとして活用できることを願っています。